

十一月二十九日（金）

「抜き打ち避難訓練」

昨日の抜き打ち避難訓練を振り返ってみます。校舎内で「火災が起きた！」という設定での避難。突然の放送で驚いたと思います。しかし、「これは、訓練です」の声で、緊張感が抜けてしまった人もいたと思います。訓練とわかったとしても、緊張感をもって

「逃げる・助かる・助ける」

ことを考えて行動ができた人は、日ごろから防災への意識をもって生活していると思います。これは大事なことです。学校は、安全で安心できる場所であるべきです。

みなさんが、安心して学習に励んだり、運動したりするために、常日ごろから点検をしています。火を扱う授業もあります。職員室から先生方が走って来て、教室や運動場に行き、「早く安全なところに逃げます！」「ハンカチで口を覆いなさい」の声に真剣に反応できたでしょうか。

皆さんの大事な「いのち」を守る訓練です。誰一人逃げ遅れることなく避難ができたことは本当によかったと思います。

訓練後の話を聴く顔は、真剣な表情でした。